

平成25年度

夢づくり協働プログラム



平成25年5月  
岡山県備中県民局

# 目次

## 1 平成25年度の協働の取組

1 基本的な考え方	.....	1
2 具体的な進め方		
（1）協働の手法	.....	2
（2）県民局における協働推進体制等	.....	2
3 主な協働事業		
（1）「備中県民局協働事業提案募集制度」の 推進	.....	3
（2）地域活力創出事業の実施	.....	5
（3）その他	.....	13

## 2 これまでの協働事業の取組状況

<協働事業の実績>	.....	24
-----------	-------	----

## 3 平成24年度の協働事業の取組状況

1 協働ミーティングの主な実施状況	.....	24
2 協働事業の実施状況		
（1）協働事業提案募集採択事業	.....	32
（2）地域活力創出事業	.....	57
（3）その他事業	.....	73
3 備中県民局協働事業審査委員会の開催	.....	103
4 職員研修の実施	.....	104
5 夢づくり推進表彰の実施	.....	105

# 1 平成25年度の協働の取組

## 1 基本的な考え方

岡山県では、県政の基本目標である「快適生活県おかやま」の実現に向け、「Ⅰ安全・安心な地域づくり」「Ⅱ将来を担う人づくり」「Ⅲ発展につながる産業づくり」「Ⅳ豊かで潤いのある暮らしづくり」の4つの基本戦略と、「元気！輝く中山間地域活性化プロジェクト」をはじめとする3つの「基本戦略横断プロジェクト」及び「中四国州構想推進プロジェクト」が行動計画として構成された、県政推進の羅針盤である「第3次おかやま夢づくりプラン」に基づき、豊かで活力ある地域づくりに取り組んでいます。

備中県民局においても、協働の取組が8年を経過する中、NPO等外部からの発想やエネルギーを活かす仕組みとして、各部所が抱える諸課題を解決する手段として積極的に「協働」という手法を活用するため、「備中県民局協働事業提案募集制度」を平成22年度より導入し、新たな手法による協働の推進を図ってきました。

同時にこれまでの現状と課題を踏まえ、備中県民局の協働のあり方を客観的、専門的に評価するため、学識経験者やNPO関係者により構成される「岡山県備中県民局協働事業審査委員会」を設置し、協働事業全般に亘り、意見、助言を求める体制を整備したところです。

また、地域の課題やニーズを踏まえ、市町村や商工団体、農業団体等と連携しながら地域産業の振興や地域社会の連帯感の強化などに向けた事業を実施するとして「中山間地域等活力創出支援事業」の中に「地域活力創出事業」を平成23年度より実施しているところです。

これらのことを踏まえ、備中県民局では、「第3次おかやま夢づくりプラン」の行動計画、備中地域の自然、産業、文化、歴史等や、更には、これまで実施してきた事業の効果や問題点を考慮し、「県民局内のあらゆる部所において協働について考え、協働の可能性を探りながら具体的な協働事業を構築する」ことを基本に協働を推進します。

## 2 具体的な進め方

### (1) 協働の手法

協働事業の立ち上げの中心となる実務協議の場として、すべての協働の「種」について、各部所で協働事業ごとに随時、関係する多様な主体とワーキンググループを設置し、具体的協働事業化に向けて検討する「協働ミーティング」を実施します。

関係する多様な主体としては、NPO団体、市町等が考えられ、随時、これらの団体と意見交換、情報交換等を行い、連携強化と情報の共有を図ります。

### (2) 県民局における協働推進体制等

#### ① 岡山県備中県民局協働事業審査委員会の設置

学識経験者、NPO支援関係者等から構成する「岡山県備中県民局協働事業審査委員会」を設置し、提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言、評価を求めます。

<岡山県備中県民局協働事業審査委員会委員>

委員名	所属・職名等
松畑 熙一	(委員長) 中国学園大学・中国短期大学 学長
岡崎 順子	岡山県立大学保健福祉学部 教授
高平 亮	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 所長
古賀 桃子	ふくおかNPOセンター 理事長
靄 理恵子	吉備国際大学社会学部 准教授
下山 高司	倉敷市市民協働推進部 次長

(敬称略)

② 庁内協働推進連絡会議の開催

県民局内の各部所の課室長等で組織する「備中県民局協働推進連絡会議」を設置し、情報の共有、連絡調整を図りながら、県民局の重点テーマ、重点事業、提案公募テーマ等に関する局内議論を充実させる場として活用し、総合的かつ効果的な施策の推進に努めます。

③ 協働研修の実施

地域での協働の担い手となる県民、ボランティア・NPO、各種団体等の多様な主体や行政職員（県職員・市町職員）に対して、協働の手法についての普及啓発や地域のニーズに沿ったテーマによる協働研修会を実施し、人材の育成、資質の向上等を図ります。

### 3 主な協働事業

#### (1) 「備中県民局協働事業提案募集制度」の推進

備中県民局の協働事業をより一層、活性化させるために各部所が抱える個別の課題や、今後、取り組むべき事項として、次の7つを個別テーマとして設定し、併せて、テーマを定めない提案も可能とすることにより、NPO等からの自由な発想やエネルギー、意見等を広く反映させることとしております。

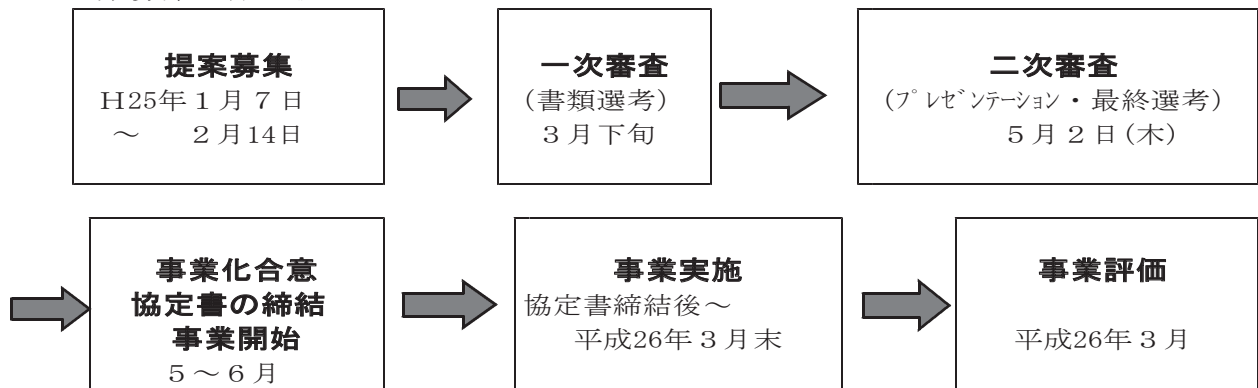
今年度は、昨年度と同じ40事業の応募があり、一次審査(書類審査)を経て、5月2日に協働事業審査委員会を開催しました。協働事業審査委員会において、応募団体からのプレゼンテーション及び審査を経て、11事業を選考いたしました。

今後、選考した事業について担当部局と協働しつつ、積極的に事業を実施してまいります。

< 提案募集制度 募集テーマ >

<p><b>①子どもと若者が健やかに育つ社会づくりの推進</b></p> <p>備中県民局管内の各地域の現状と課題を踏まえ、子どもと若者が健やかに育つ社会づくりを推進するための効果的な事業の企画・運営</p>
<p><b>②備中地域の地域・伝統文化の発信</b></p> <p>H22に本県で開催された国民文化祭により盛り上がった文化に対する気運の醸成を捉え、備中地域の個性ある文化等をクローズアップし、広く情報発信を行うことにより地域の文化振興を図る事業の企画・運営</p>
<p><b>③中山間地域の活性化の推進</b></p> <p>過疎化や高齢化により集落機能の低下や生活交通網の弱体化などが進む中山間地域において、地域を活性化するために効果的な事業の企画・運営</p>
<p><b>④産業・観光の振興</b></p> <p>備中地域の「強みを生かした産業競争力の強化」や「雇用の確保」等、産業や観光の振興に効果的な事業の企画・運営</p>
<p><b>⑤体験型環境学習事業の実施</b></p> <p>大気・水環境・地球温暖化等の問題に対し、森林との関係や里山、里海が果たす役割、ライフスタイルの見直しの必要性等、環境保全意識の高揚や環境改善への取組の推進につなげるための、小学生等を対象にした体験型環境学習の企画・運営</p>
<p><b>⑥耕作放棄地の解消</b></p> <p>地域の農業者の活動に加え、都市住民や企業、NPO、教育機関、行政機関等、地域内外の多様な人々の支援等を活用した耕作放棄地の解消・地域活性化モデルの立案及び実証</p>
<p><b>⑦鳥獣害に強い地域づくり活動</b></p> <p>農業所得の減少や生産意欲の減退につながっている野生鳥獣の被害に対し、鳥獣害防止対策支援チームの設置や、被害発生集落における防護や捕獲の技術指導及び生息状況や捕獲鳥獣の利活用に関する調査、研究事業の企画・運営</p>

< 提案募集事業の流れ >



## **(2) 地域活力創出事業の実施**

地域活力創出事業は、平成23年度より「県民局が地域の課題やニーズを踏まえ、地域での総合調整力や企画力を発揮し、市町村、商工団体、農業団体等との連携をはじめとした県民協働により、計画的な事業展開を図り、地域産業の振興や地域社会の連帯感の強化など地域の活力を創出すること」を目的として創設された事業であり、「自然、伝統、文化、地場産業など幅広い地域の資源を活用し、地域の産業振興など地域の活力の創出につながる特色あるソフト事業」を対象として、「地域の特性等を踏まえ、2～3年程度先を見据えつつ重点的に取り組むべき施策を明らかにした県民局重点施策方針及びこれに基づく事業計画を策定」することとされております。

平成25年度は、これまでに実施してきた事業の効果や進捗状況を踏まえ、次のとおり「備中県民局地域活力創出事業重点施策方針」を定め、事業を推進してまいります。

## 備中県民局 地域活力創出事業 重点施策方針

### 1 管内の状況

備中地域は、県三大河川のひとつである高梁川が南北を貫流し、北部の中国山地から中部の高原部を経て、南部の平野部、瀬戸内海まで起伏に富んだ地形を有している。

この豊かな自然環境の下に、備中地域の特徴として、

- ・マスカット、ピオーネや千屋牛など優れた農林水産物を生産
- ・倉敷美観地区や瀬戸内海などの世界に誇れる1級の観光地と吹屋などの個性的な観光地の存在
- ・水島地区の大企業群から児島・井原の繊維産業など伝統ある地場産業までの多彩な産業活動
- ・特産品づくりや子育て支援など多くの分野にチャレンジするNPO等の存在・成長など、十分に魅力的な地域資源を有している。

### 2 課題

備中地域は、その地形的な条件から多くの中山間地域を包含しており、

- ・高原部や山間地に小規模高齢化集落が点在
  - ・人口減少・少子高齢化により、医療環境の悪化、耕作放棄地の増加、事業所の減少
  - ・落石・高潮・津波など防災上のリスクが高い地域が存在
- などの課題を有している。

### 3 地域活力の創出に向けた取組方針

このような状況の中で、備中県民局では「第三次おかやま夢づくりプラン」の行動計画を踏まえ、中山間地域に活力を与えることが管内全域の活力創出と地域振興につながる有効な方策であるとの認識のもと、次の施策・事業を展開し、備中地域の活力を創出するものである。

このため、平成23・24年度の状況をもとに、管内の県民、ボランティア・NPO、町内会等の自治組織、商工団体や農業団体、企業、大学、市町などの多様な主体と相互に連携し、ネットワーク化を図りながら、備中地域ならではの「産業モデル」・「地域モデル」を構築していく。

#### (1) 夢と元気にあふれる備中

##### 【重点施策】

- ①ソーシャルビジネスや地場産業への支援
- ②都市と農村の交流による中山間地域の活性化
- ③地域資源を生かした観光・文化の振興
- ④地産地消の推進

#### (2) 安全・安心で暮らしやすい備中

##### 【重点施策】

- ①保健福祉・医療の体制の充実
- ②防災力・防犯力の強化



## ○本年度実施予定の地域活力創出事業

### <事業名>強みを活かした備中地域の観光振興事業

#### <概要>

備中地域の観光資源には、

- ①倉敷美観地区、吹屋等の個性豊かな「まちなみ」
- ②笠岡ラーメン、鴨方手延べそうめん・うどん、千屋牛ラーメンなどの「麺」
- ③技術集団として全国に名を馳せた備中杜氏が醸し出す「備中の酒」

といった観光の「強み」がある。

これらの「強み三素材」を活かした広域観光ルートを設定することにより備中地域の観光の魅力をさらに向上させ、大型商業施設への買い物客等を備中地域の観光スポットへ誘導する施策を実施する。

#### <実施計画>

平成24年度は、アウトレットモール等の買い物客を備中エリアの観光スポットへ誘導する具体的な取組として、観光の「強み三素材」に穴場的スポットを組み合わせた周遊型スタンプラリーを実施した。

スタンプラリーについては、一部コースの見直しを行うなど内容を改良し実施する。

なお、JRやNEXCO西日本、旅行エージェントとの連携を強化することでより多角的に広がりのあるPRを行い一層の誘客を図っていく。

また、「まちなみ」については、25年秋に倉敷市他で開催される「全国まちなみゼミ」をふまえて、まちなみ保存団体に対する「まちなみ」の魅力をより高めるための活動（コンセプトの統一、地域の祭事の復活等）への支援とネットワークの強化を図る。

- 1 大型商業施設と備中地域の観光スポットを繋ぐスタンプラリーの実施
- 2 大型商業施設のイベントステージを活用して管内関係団体による備中地域の観光展の開催
- 3 中四国各県の旅行エージェント・マスコミに対する観光キャラバンの実施
- 4 備中地域の観光情報を紹介するHPと大型商業施設のHPとの相互リンク（PC用、スマートフォン用）

# 「強み」を生かした備中地域の観光振興事業

## 現状

- ・「美観地区」「吹屋」など個性豊かな「町並み」が点在
- ・多様な「麺」文化がご当地グルメとして管内各地に点在
- ・「備中杜氏」という技術に支えられた「酒どころ」として有名



観光情報誌 **B!chu**

発信中



観光強み三素材「町並み」「麺」「酒」をメイン

+

穴場スポットを組み合わせ

備中ならではの味が楽しめるスイーツ店



倉敷美観地区新スポット「奈良萬の小路」



スタンプラリー



アウトレットモール客の備中地域への誘導  
魅力あるまちなみづくりによる地域活性化

相互に連携し  
周遊性を高める

**観光客増による活性化**

**<事業名> 備中発！地域産業の魅力発信事業**

**<概要>**

**1 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化**

商工団体、農業団体等と連携し、備中地域ならではの地域資源を活用して開発した特産品等の課題に対する専門のアドバイザーによる商品のブラッシュアップ、見本市への出展、商品開発・販路開拓に向けたセミナーの開催など売れ筋商品化に向けた支援を実施する。

**2 企業展の開催(学生等と管内企業のマッチング、異業種交流の促進)**

地域づくり団体、商工団体等と連携・協働し、備中局管内の様々な業態の企業等を一堂に紹介する企業展を開催し、その際、管内大学と連携し学生等をスタッフとして参加させることで、県内企業の魅力を知らない学生等と自社の魅力を伝えきれず学生等の採用に至らない企業とのマッチングの場とする。加えて、参加企業等による交流の場を設け、異業種間のネットワークを構築することで、新たな商品開発のきっかけづくりとする。

**<実施計画>**

**1 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化**

24年度は専門家の助言により新ブランドの立ち上げに一步踏み出した事業者、積極的な商談会への出展により売上げが急激に伸びた事業者など成果があり、また、管内4箇所で開催したブラッシュアップセミナーが盛会であったことから、25年度の改善策として、

- ①商工団体、農業団体等と連携して、きめ細かく募集を行う。
- ②ブラッシュアップセミナーの充実及び参加者拡大に努める。

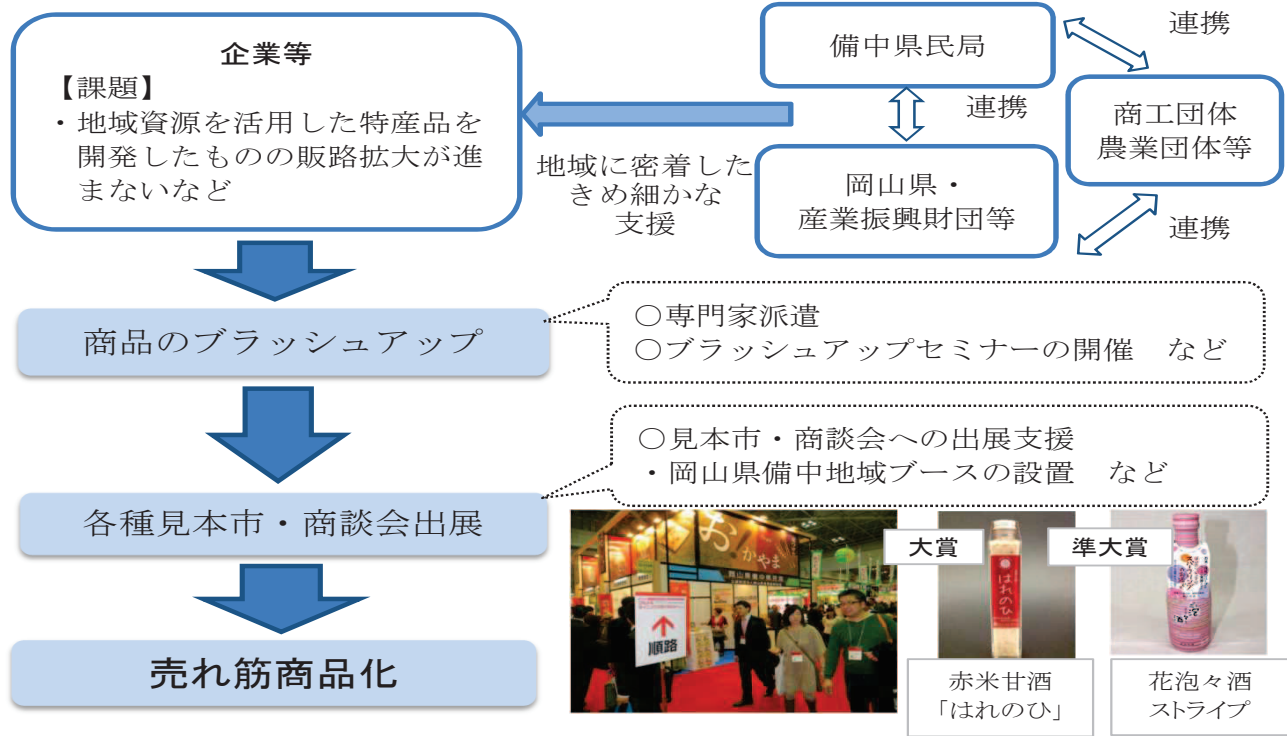
**2 企業展の開催及び異業種交流の促進**

24年度は参加企業間の異業種交流により製品が共同開発されたり、一部企業で学生の工場見学が実現したことから、25年度の改善策として、

- ①異業種交流の機会を新製品の開発に結び付けられるよう、きめ細やかな調整に努める。
- ②大学と連携して大学生の参加を促すことにより企業と大学生の交流機会を充実させる。
- ③学生の募集を行う企業の参加を増やし大学生と企業のマッチングの場の充実を図る。

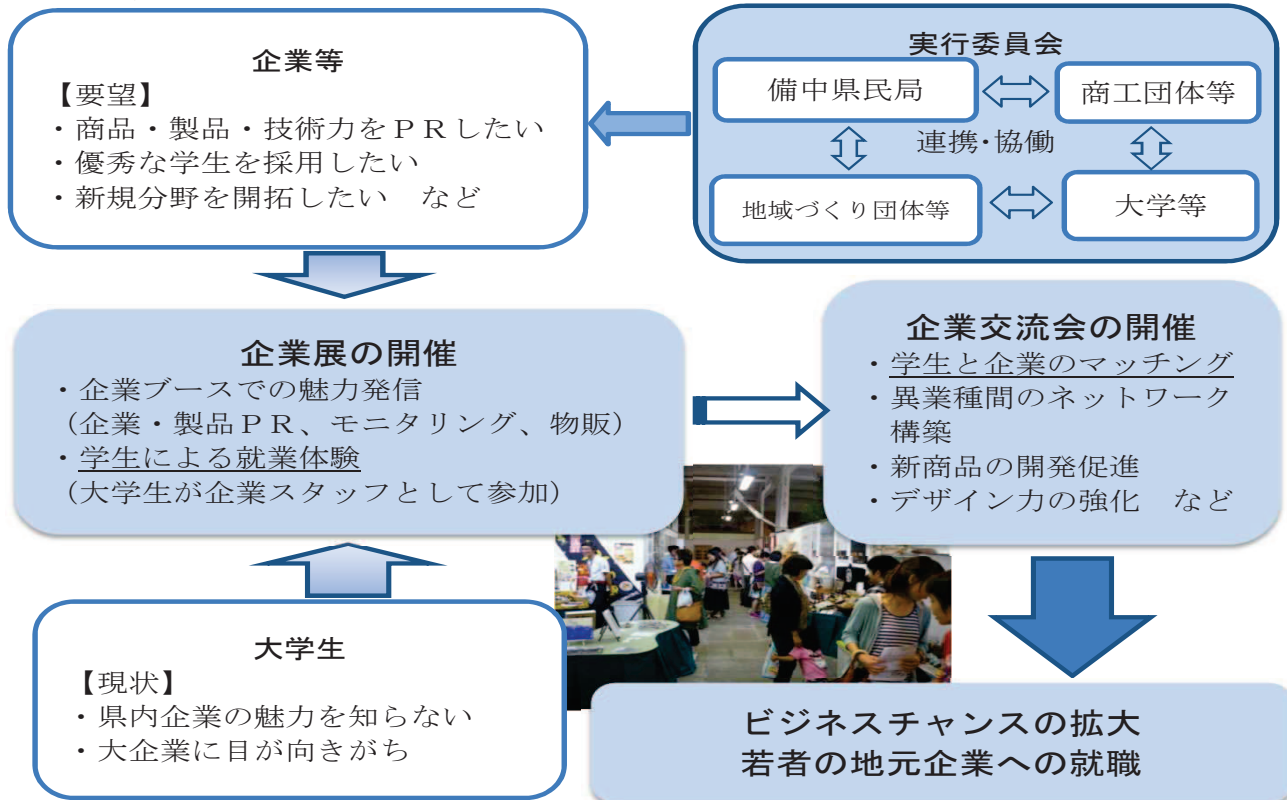
# 備中発！地域産業の魅力発信事業の進め方

## 1. 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化



グルメ&ダイニングスタイルショー 新製品コンテスト大賞・準大賞受賞

## 2. 企業展の開催(学生等と管内企業のマッチング、異業種交流の促進)



## ＜事業名＞防災力・防犯力強化事業

### ＜事業概要＞

近年の少子高齢化からくる中山間地域の集落機能の低下や、住民のコミュニティへの帰属意識の希薄化は、地域の防災力・防犯力を弱体化させる要因の1つとなっている。

東日本大震災の発生を契機に、これまで以上に地域の防災力強化が求められており、また、犯罪の起こりにくい社会の実現を旨とした取組は粘り強く継続していく必要があるといった観点から、地域社会の連帯感を強化し、防災力・防犯力の強化につなげていく取組を実施する。

### ＜実施計画＞

#### 1 防災モデル事業

市町が進める自主防災組織の育成を支援する。

実施は、防災まちづくりのモデル地区を設け、防災の啓発に精通したNPO等との協働により「地域の課題を踏まえたワークショップ」の開催。

ワークショップの内容は、

- ・ 防災知識の習得
- ・ 防災対策の実施（避難経路や危険箇所の点検、ハザードマップの作成等）
- ・ 地域の共助による災害時要援護者支援の検討
- ・ 避難訓練の実施 等

#### 2 地域社会の連帯感・きずなの強化支援モデル事業

地域社会で行われる高齢者宅への訪問や各種文化・スポーツ大会等住民が多数参加する地域社会の連帯感・きずなの強化につながる取組を促進する。

